

令和2年度 第5回 グループホームのへじ運営推進会議議事録

開催日時	令和3年1月20日(水) (コロナウイルス対策の為書面会議とする)		
開催場所	GHのへじ		
司会	岩田 利香子		
記録	岩田 利香子		
(家族参加者) K・F様 (コロナ対策の為欠席)	(地域住民代表参加者) 敦賀 優美子様 (コロナ対策の為欠席)	(事業に知見を有する者) 福沢 得子様 (コロナ対策の為欠席)	(法人関係者) 岩田 利香子 (GH 管理者)
(利用者参加者) (コロナ対策の為欠席)	(介護福祉課 調整監) 小又 千恵子様 (コロナ対策の為欠席)		
1.運営推進会議開催のあいさつ			
① 昨年中はご指導、ご鞭撻ありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。			
② コロナウイルスが猛威を振るっています。県内でも発生している状況。12月には町内でも感染者が出ており、身近に迫ってきています。感染拡大防止策のため、町とも相談の上、本日の運営推進会議は文章による情報提供と報告にさせていただきます。			
感染予防策の徹底・「介護保険サービス事業者向け感染対策に対する研修」の実施を行い備えていきたいと思えます			
③ 1/6 A様の退居に伴い、家族代表者のY様が委員を退任されることになりました。後任としてK様のご家族様であるK・F様に委嘱状を交付させていただきました。今後、開催時間が15時からに変更になりますので宜しくお願い致します。			
④ 法人で行っている満足度調査の結果が出ました。ご家族様には概ね満足との評価を頂きました。希望要望として「外部との接触が限られるコロナ禍において、なるべく刺激の多い日常生活をお願いします」との意見を頂きました。			
グループホームでは、毎日の家事や体操・レクの他、週1回の行事を提供しています。取り組みについては、グループホーム便りや個別に電話や手紙、来所持にご家族様に様子をお伝えしていきたいと思えます。			
⑤ 11/11 町からの実地指導があり修正・改善して12/8「指摘事項訂正改善報告書」を提出しました。ご指摘を受けた「個人情報利用同意書」に家族の代表者名を追加、修正して現在使用しています。その他、ご助言も頂き検討修正する事で、より良い運営に繋げることができたと思えます。			
⑥ 11/14 に調査を受けた外部評価結果が届きました。結果は、事業所内での掲示やご家族様に配付しお知らせしています。			
体操や歩行運動は毎日行っているが、施設外に出るとふらつき歩行能力の低下している利用者様が 増えている為「下肢筋力の低下防止し春の外出行事を目指してしっかり歩け楽しめる」を目標達成 計画に掲げ取り組んでいます。			
以上の結果については12/22 野辺地町に提出しています。			
2.利用者様の状況について			
① 入院されていたA様が、歩行困難な状況となり1/6退居。1/18 N様91歳 女性 要介護3の方が 入居されました。グループホームでの生活に慣れて頂けるように、寄り添いながら皆さんと馴染み、 安心して生活ができるように、配慮していきます。その他の方は体調不良なく個々の能力に合わせて 出来る家事や体操、レクリエーション、スロープでの歩行運動を実施しながら、活動的な一日を送っ ています。			
② 面会制限は継続する見込み。ご家族様に安心して頂けるようにグループホーム便りに写真を同封 して様子が分かる様に工夫しています。ご家族様からも好評で継続していきたいと思えます。			

3.事故ヒヤリハットの発生状況について
A.様：12/24 7：30 右足の痛みを訴え立てない状態。外傷はなし。夜勤帯、定時巡回はしているが転倒などの異変は無かった。N病院受診「右大腿骨頸部骨折」の診断。治療なく1ヵ月安静の指示。認知症状も進行している状況でありかかりつけ医のT病院に相談したところ、12/25から入院。1/5 ご家族様より歩行困難の為、退居の希望があり退居となる。
再発防止策：94歳・歩行は自立。転倒は確認できていない。高齢の為、骨がもろくなっていた可能性も考えられるが、急に痛みを訴え立てなくなった為、原因は不明。
退院の目途が立った時に病院から情報収集し、本人の状況確認と必要なサービス内容に変更する予定だったが、退居となってしまった。
野辺地町には事故報告について12/25 第一報入れ、事故報告書は1/18提出済み。
4.身体拘束等の適正化について
12/9 第3回GH身体拘束検討委員会を実施しました。
虐待の芽チェックリストの結果は以下の通り
「利用者に対してイライラした事がある」・・・7名中2名
①場面・・・利用者が他利用者に対して陰口やソファに座るのを拒否した時 対処方法の実践・・・感情を出さないようにコントロールし話題を変えたりした。 必要なこと以外は言わないようにするが、不快な感情は引きずってしまう。
②場面・・・思い通りにいかない。意見がかみ合わない。 対処方法の実践・・・深呼吸した。冷静になろうと言う気持ちにはなるがイライラは変わらない。
③虐待の芽チェックリスト結果に対する改善と予防策について 業務の多さ、一部の利用者からの毎日の言動のストレスから感情的になってしまう事もある。 今は、アンガーマネジメントしながら不適切ケアにならないようにコントロールできているが、職員のストレスの軽減は必要。一人で抱え込まず言い合える職場の環境や接遇の意識、介護力を高める事が必要。 そのために、12月は第2回身体拘束研修 「これもNG?介護における不適切ケアと予防法」について実施。 研修を実施して、職場での虐待を未然に防ぐ為、知らない間に自分が当事者にならないよう「不適切ケア」とはどのようなものなのか具体例を参考にみんなで話し合い、気づくことが出来た。 また、改善や予防方法として話しやすい職場の環境・接遇の意識・認知症について正しく理解し介護のスキルを高めることが重要である事を改めて確認する事が出来ました。
5.行事について
12/4 おやつ作り 12/7～8 年賀状作り 12/14～19 正月飾り 12/25 クリスマス会
12/30 忘年会 1/1～2 書き初め大会 1/11 初釜 1/18～23 作品作り
6.今後の行事予定
1/28 おやつ作り 2/2 節分豆まき 2/4 誕生日会 2/11 冬の運動会 2/18 昼食バイキング
7.委員の皆さんからのアドバイス等
※書面会議の為 省略させていただきます。
8.次回開催時期について
次回は3/24(水)15：00～の予定ですが、状況に合わせて判断させていただきますので変更時にご連絡いたします。